

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/07号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

下値1620ドル確認で大きく上昇

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週は大きな動きがあった一週間でした。大注目の11月のFOMCは市場予想通りの0.75%の政策金利上げでしたが、その後の議長会見において、パウエル議長は、最初こそハト派的なニュアンスで、ゴールドは上昇しましたが、その後は金利の最終的なレベルは想定よりも高いものとなり、経済のソフトランディングの可能性は小さくなったと、タカ派的なニュアンスとなり、ゴールドは大きく下落、1620ドルのサポートを試すところまで下げました。しかし9月以降3回トライしている1620ドルを割り込んでさらに下値を試すまでには至りませんでした。これは逆にマーケットに底値の固さを意識させたようです。おそらくはこの底値を支えているのは、中央銀行そしてアジア、中東の現物買いだと思われます。翌金曜日は雇用統計の発表でした。10月のNFPは市場予想の20万人増に対して21.6万人増と若干よい数字でした。発表直後は大きな反応はありませんでしたが、その後、失業率が3.7%と上昇したことに注目点に移り、特にコアな年代での失業率が上昇していることがマーケットに意識されました。それに加えて、2年と10年の金利逆転幅が0.5%を超えたというまさに不況を予想される状況にゴールドは大きく上昇、1680ドルまでまさに急騰して一週間が終わるという驚きの状況となりました。円建てゴールドも7700円から7920円まで急騰、ドル円は148円台から146円台まで下げましたが、ドル建ての50ドル急騰がはるかに大きな影響でした。今週はこの急騰が続くのかどうかですが、まずは利食いの売りが入ってくる可能性が高いでしょう。ただ、底値の固さが確認されたこと、そして7カ月連続下落したという過去最長の下落マーケットであったことを考えると、ドル高の修正が入ってくるとすればゴールドの上昇はこれでは止まらないでしょう。来年早期とみられていた相場のトレンド変換が予想よりも早くなった可能性も多いにあります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

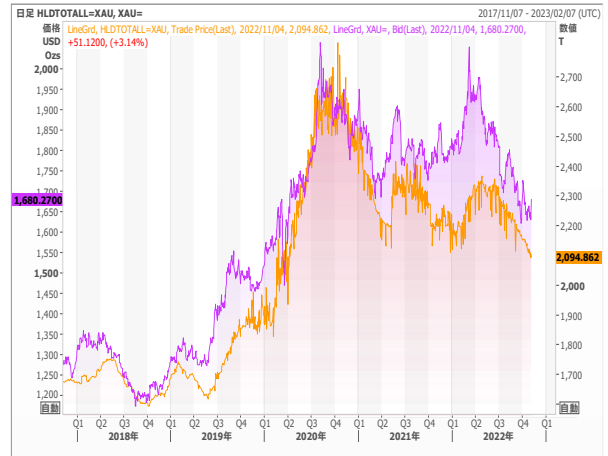
【マーケット・トピック】

「米国インフレ抑制法案 (IRA) とプラチナ 2」

水素は水を電解することで、酸素と水素に分解し、取り出されます。その際にプラチナはPEM (Polymer Electrolyte Membrane: 固体高分子電解膜質) という技術に使われます。この技術は水電解で水素を取り出す際のみならず、FCEVで水素エネルギーを利用するときにも使われているのです。IRAにより、脱炭素を目指す産業でのグリーン水素の活用はさらに積極的になっていくことが予想されます。実際、コンプレッサーのメーカーであるハウデンは米国での水素プロジェクトへの投資を増額させることを発表、ボッシュも\$200million (約290億円)の投資で燃料電池車に使われる燃料電池関連の工場を米国で立ち上げると発表しました。

米国のインフレ抑制法案は、グリーン水素で利用されるプラチナの需要を大きく増加させる可能性があります。今後何年もかけてゆっくり増えていく需要としてプラチナにとっては長期的に大きな追い風になると思われます。だとすれば800ドル台で安値低迷している今はまさに投資を開始するチャンスではないでしょうか。

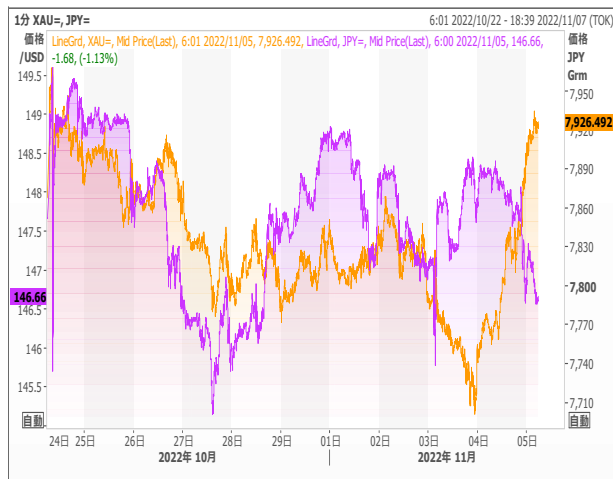
(ドル建てプラチナ)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

